

研究課題名：周術期外来における他科コンサル・他部門相談内容の分析
(倫理審査委員会 承認受付番号 11)

近年、高齢化・麻醉の進歩・医療の高度化に伴い、多数の併存疾患を有しながらも高度な手術医療を受けられる方が増加しています。南和地区唯一の急性期病院である当院は、手術件数の増加や入院期間の短縮が図られる中、安全な対応が求められます。そのためには患者様個人の周術期リスクを早期に把握した上で、必要に応じ他部門へ相談・紹介し、多職種連携による専門的介入を行うことが重要です。当院で麻醉・手術を受けられる患者様には、術前に麻酔科医師と手術室看護師による周術期外来を受診していただいている。しかし、全国的にも周術期外来は新しいチーム医療であり、立ち上げて間もない施設が多く、その実施内容や成果は明らかになっていません。先行実施している施設として具体的な成果を明示し共有することは、チーム医療の推進に意義があると思われます。

手術室では、2016年4月1日開院以降に、周術期外来を受診された患者様の他科コンサル・他部門への相談内容について、診療記録・看護記録より調査を行い、後ろ向きに検討させていただくこととなりました。

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。ただし、成果を公表する場合には、臨床データを使用させて頂いた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。この研究は南奈良総合医療センターの倫理委員会の審査を経て承認を得ています。これらの研究において、ご自身の提供された情報等について患者様またはご家族が問い合わせたい、もしくは利用を拒否したいなどの場合には下記にご連絡ください。なお、拒否されても患者様へ診療上の不利益などは生じませんのでご安心ください。

南奈良総合医療センター 看護部手術室

TEL 0747-54-5000

担当者

大谷 京美、原 智子、阪本 はるみ